

平成27年度当初予算編成方針について

新たな「基本構想」と「行政経営方針」に沿って取組を進める初年度の予算編成

■基本方針

- ①対話・共感・協働のもと、先駆的・戦略的な施策に重点的に取り組むことにより、「夢・希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現を目指す。
- ②安定的で持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き歳入・歳出両面から財政健全化の取組を進める。
(財政状況の認識)

今後4年間の財政収支を試算したところ、一定の財源不足が見込まれること、また国体開催に向けた施設整備をはじめとする大規模事業の実施や公共施設等の老朽化対策、年々増加する社会保障関係費など、今後増大する財政需要に的確に対応していく必要があることを考慮すれば、本県の財政状況は決して楽観できないとの認識のもと、財政運営を行う必要がある。

■予算編成方針のポイント

1 7つの重点テーマの設定による戦略的な施策構築

(7つの重点テーマ)

- ①子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現
- ②すべての人に居場所と出番があり、最期まで充実した人生を送れる社会の実現
- ③滋賀の強みを活かし、新たな強みを生み出す滋賀発の産業の創造
- ④琵琶湖をはじめとするめぐみ豊かな環境といのちへの共感を育む社会の実現
- ⑤豊かに実る美しい地域づくりと滋賀・びわ湖ブランドの発信
- ⑥「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造
- ⑦人や「もの」が行き交う活力ある県土づくりと安全・安心社会の実現

- 2 財政健全化の推進
- 3 国の動きに呼応した施策の推進と国の施策・制度の活用
- 4 市町との連携強化
- 5 部局間連携の徹底
- 6 予算編成過程の透明化

1 7つの重点テーマの設定による戦略的な施策構築

現在策定中の新たな基本構想における7つの重点テーマに沿った施策の着実な推進を図るため、「重点化特別枠」を設定。

2 財政健全化の推進

持続可能な財政基盤の確立に向け、新たな行政経営方針策定の考え方に基づき、「スクラップ・アンド・ビルドの徹底」、「選択と集中による投資的経費の重点化」などにより、財政健全化に向けた取組を一層推進。

3 国の動きに呼応した施策の推進と国の施策・制度の活用

本県が直面する課題の解決に向け、地方の創生と人口減少の克服に向けた取組をはじめとする国の動きに呼応した施策を推進するとともに、活用できる国の施策や制度は、時期を逃すことなく最大限に活用。

4 市町との連携強化

人口減少社会への対応など、県政を取り巻く様々な課題の解決に向け、情報共有や対話などを通して、住民に最も身近な基礎自治体である市町との連携を強化。

5 部局間連携の徹底

効率的・効果的な施策を展開することができるよう、施策構築や予算編成を通して、各部局の緊密な連携を図り、組織の持てる力を最大限に発揮。

6 予算編成過程の透明化

「開かれた県政」の推進を図るため、予算編成の各段階における情報を積極的に発信することにより、予算編成過程の透明化を引き続き推進。